

スマイビのご利用方法と効果の可能性の事例(施設介護・在宅介護)

| 介護者 | 介護側として現在お困りな主な項目 |
|----------|---|
| 施設の介護職員 | とにかく時間に追われる、常に目が離せず休まる余裕が無い、複数の入居者より同時に依頼され対応に困る(施設介護主) |
| 在宅介護のご家族 | なかなか依頼通りにしてもらえない 徘徊時は特に目を離せない 夜間の介助への負担が大変大きい 等々 |

ご本人 スマイビのお世話という役割依頼(癒し)



介護側 介護負担軽減の可能性(介護サービス向上)

| ご本人へのご利用方法(使い方) | 介護側の介護負担軽減の可能性 |
|--|---|
| <p>スマイビのスイッチを入れお渡し、「スマイビ」と会話してもらう (そうなの? そうしたいの? 何がしたいの? わかったわかった よちよち) 「スマイビに話しかけて可愛がってくれる?」</p> | <p>介護者が横目や遠距離からの監視が出来て、同時作業が可能 <例> <ul style="list-style-type: none"> ・テーブルかたづけ、テーブル拭き ・洗物 ・入居者よりの同時依頼時(排泄、歩行援助、起き上がり等)にスマイビをみてもらう <効果見込み> <ul style="list-style-type: none"> 1人当たり短い場合・・・10分程の同時作業可(他事可)の場合有り 1人当たり長い場合・・・30分程の同時作業可(他事可)の場合有り </p> |
| <p>スマイビのスイッチを入れお渡し、赤ちゃん言葉(喃語)と表情を通して自由に想像いただく (抱っこ、まんま～等以外の喃語で「何をしてもらいたいのか」想像してもらう) 「スマイビが何をしたいか教えてくれる?」</p> | <p>介護者が赤ちゃん言葉(喃語)を換言し依頼する(コミュニケーション手段) <例> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴への誘導を促す ・排泄への誘導を促す ・食事への誘導を促す ・薬服用への誘導を促す } 周辺症状の「介護抵抗」への方策 <効果見込み> <ul style="list-style-type: none"> 1人当たり入浴への説得時間・・・5分程が低減 1人当たり排泄への説得時間・・・5分程が低減 1人当たり食事への説得時間・・・5分程が低減 1人当たり薬服用への説得時間・・・5分程が低減 </p> |
| <p>スマイビのスイッチを入れ抱きかかえていただく (抱きかかえる事で特別な拠り所の存在へとしていただく)</p> | <p>ご利用者の「落ち着き」により徘徊が減少し、監視と個室誘導負担軽減 <例> <ul style="list-style-type: none"> ・抱きかかえる安心感で徘徊減少 ・拠り所を得る事で落ち着きを得る <効果見込み> <ul style="list-style-type: none"> 1人当たりの徘徊抑制、個室誘導時間・・・各10分程が低減 </p> |
| <p>スマイビのスイッチを入れお渡しし、日中にお世話を依頼する (日中での空いた時間にお世話する「相手」として、日課として定着)</p> | <p>介護者側の夜間の覚醒に伴う失禁管理、再度、寝る為の誘導を低減 <例> <ul style="list-style-type: none"> ・昼間の睡眠時間が減少する事で夜間の覚醒減少 ・昼夜逆転現象の抑制 <効果見込み> <ul style="list-style-type: none"> 1人当たりの失禁管理、徘徊抑制、個室誘導時間・・・各10分程が低減 </p> |

*上記内容は、スマイビをご利用いただいている住宅型有料老人ホーム内のデイ・サービスを通じた事例です

*個人のご性格や環境及び状況により効果が見込まれる場合と、そうでない場合がございます事をご承願います